

伊賀市市勢要覧作成業務委託プロポーザル審査委員会講評

伊賀市市勢要覧作成業務委託プロポーザル審査委員会

1. 選定経緯

伊賀市市勢要覧の作成にあたり、企画力、技術力、表現力等の観点から最適な業務受託者を選定するために、公募型プロポーザルを実施することとした。

平成30年5月18日に伊賀市市勢要覧作成業務委託プロポーザル審査委員会設置要綱を制定し、市勢要覧の記載内容に関連が深い委員で構成する審査委員会を設置して委託候補者を特定することとした。審査委員会は2回開催し、最優秀提案者及び次点者を特定した。

(審査委員)

伊賀市総務部長

伊賀市産業振興部次長兼伊賀市営業本部事務局長

伊賀市総合政策課長

伊賀市広聴情報課長

伊賀市観光戦略課長

(事務局)

伊賀市総務部総務課 行政庶務係

(1) 第1回審査委員会

開催日：平成30年5月22日(火)

場 所：伊賀市役所 第3会議室

欠席者：なし

第1回審査委員会では、事務局から本業務の概要及び審査委員会設置要綱について説明を受けた後、委員長及び副委員長の選任を行った。その後、実施スケジュール、実施要領及び評価基準について審査した。

審査の結果、「業者の業務経歴」「技術者の業務実績」「過去の代表作」「業務実施体制及びスケジュール」「市のまちづくりとの整合性」「構成・デザイン」「企画力・独創性」「見積書」についての書類審査により、十分な審査が出来ると考え、ヒアリング審査は行わず、書類審査のみを行うことと決定した。

(2) 第2回審査委員会

開催日：平成30年7月11日(水)

場 所：ハイトピア伊賀5階 学習室1(B)

欠席者：なし

第2回審査委員会では、本プロポーザル参加者4者の過去実績と見積金額について、あらかじめ定めた評価基準に基づき事務局が採点した結果を確認した後、4者から提出された企画提案書の審査を行った。

審査は、各提案書を評価項目に沿って記載内容を確認し、提案者毎に各委員の評価点の合計が一番高かった者を最優秀提案者、2番目に高かった者を次点者として特定した。

なお審査に当たっては、匿名性を確保するため、提案者名を伏せて行った。

2. 選定結果

(1) 評価点

	提案者 1	提案者 2	提案者 3	提案者 4
合計	337	294	359	310

(2) 最優秀提案者

株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所

京都市右京区右京極西池田町9番地5 右京極駅前ビル6階

3. 講評

(1) 全体講評

伊賀市市勢要覧の作成にあたり、企画力、技術力、表現力等の観点から最適な受注者を選定するため、伊賀市市勢要覧作成業務委託プロポーザル審査委員会を設置し、公募型プロポーザル方式を実施した。

実施にあたり、第2次伊賀市総合計画第2次再生計画、伊賀市シティープロモーション指針、伊賀市観光パンフレット、過去に伊賀市が作成した市勢要覧などを参考資料として提示し、今回の業務での実施体制及び業務スケジュール、過去の代表成果作成に係るコンセプト、今回の業務に関する企画提案、デザインキャンプの4点について企画提案書の提出を求めたところ、本プロポーザルに4者から応募があり、提案期間が短期間であったものの、各々趣向を凝らした提案がなされた。

提案課題の1点目である「実施体制及び業務スケジュール」では、専門性が高い業務毎に専門のスタッフを配置する提案や、部門間の連携を強化して業務をスムーズに進めるなどの提案があった。

2点目の「過去の代表成果作成に係るコンセプト」については、凝った表紙デザインや導入部からの本文への展開でオリジナリティが提示されていた。

3点目の「今回の業務に関する企画提案」については、今回のテーマである「忍者市」を全面にアピールするものをはじめ、シティープロモーションでの活用、デジタル版への展開など、提案は多岐に渡り審査に時間を要することとなった。

4点目の「デザインキャンプ」では、忍者のイメージを残しつつ、見やすさ、分かりやすさ等、提案者ごとに趣向を凝らしたデザインが提示された。

全体的にある程度「忍者」のイメージは従来から定着したものがあるように感じられたため、企画提案の中で新しい市勢要覧の活用の可能性や市のまちづくりとの整合性についての記述が評価のポイントとなった。

(2) 最優秀提案者講評

他市事例として提出された要覧では近年の要覧作成のポイントを整理し、新しい視点や表現を取り入れている点や特殊加工された表紙デザインが好評を得た。

見開きのデザインキャンプは見やすさ、分かりやすさを重視したものとしており、企画書の中のページ構成の提案で各ページの説明がされていることで完成時のイメージがしやすかった。

さらに100パーセント社内スタッフで業務間の連携を図ることにより、業務期間を短縮する提案も評価された。

参考として提供した資料から市の政策やまちづくりの視点などもよく研究されており、総じて、本市のまちづくりとの整合性の高さや、本業務に求められる提案内容の的確性など、総合的にバランスのとれた企画提案として最も高い評価を得た。

伊賀市市勢要覧作成業務委託
プロポーザル審査委員会
委員長 稲森 洋幸